

平成17年度 申請書審査結果

1. 資金出えん申請書提出状況

50件(第3四半期25件、第4四半期25件)において申請書の不備(誤記・記載漏れ等)があり、また要請時の事業計画書と異なる内容もあった。

ただし、直近の状況としては1月～2月に集中して申請書の記載方法について説明・調整を行った結果、第4四半期の申請書不備発生率が49.0%となり、市町村担当者の理解が深まりつつある。

	17年度協力要請 市町村	出えん申請実績		
		第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月・2月上旬)	
市町村数	70	57	35	↗ 54
申請件数 ^{*1}	67	83 ^{*2}	32	↗ 51
申請書不備件数 (発生率 ^{*3})	—	50 (60.2%)	25 (78.1%)	↘ 25 (49.0%)

*1: 鹿児島県 奄美大島において4市町村が広域連携にて本事業を行っているため、申請件数・市町村数が異なる

*2: 第3四半期・第4四半期を複数カウントしている

*3: 出えん申請件数にたいする申請書不備の発生率(申請書不備件数/出えん申請書数)

2. 申請書の審査結果

上記50件の申請書の不備については、**“基本的な考え方”^{*4}**に則して市町村と協議し、**すべての申請書を適正なレベルまで引き上げた。**

*4: 第7回離島対策等検討会における「事業開始直後であることから計画の変更等が発生しやすく、弾力的に対応すべき」との委員ご意見に基づき、柔軟に対応

1) 審査結果概要(詳細は参考資料2-2参照) <複数カウントがあるため申請書不備件数と異なる>

(1) 申請書類の不備(誤記・記載漏れ) ⇨ 修正のうえ、申請書再提出をもって申請を認めた

事項	該当件数		対応方法
	第3四半期	第4四半期	
①申請者(引き渡し者)間違い (Eパターンの申請者欄に最終所有者を記入)	4	0	単なる記入ミスのため再提出を要請、受領済 今後は記入ミスが発生しないように、個別実施明細書様式の変更を行う(参考資料2-3参照)
②事業者名間違い (申請者名(引渡者)と同じ業者を記入)	0	1	
②その他(単純な誤記・記載漏れ)	15	12	
合計	19	13	

(2) 事業計画と異なる申請 ⇨ 変更申請書提出をもって申請を認めた

区分	NO.	事項	該当件数		対応方法
			第3四半期	第4四半期	
輸送費用等の変更	イ	輸送単価が高い	6	1	・チャーター船の輸送計画変更による輸送単価の値上げ(2町) →今回に限り特例として認める ・船会社変更、荷姿変更、消費税計上分漏れ(5市町) →妥当性を確認
	ロ	低い	9	9	問題なし
取り回しの変更	ハ	車種の追加	3	1	} 妥当性確認
	ニ	申請者の変更	1	0	
	ホ	海上輸送範囲の追加 (事業計画にない業者間の移動)	3	1	
	ヘ	海上輸送パターンの変更 (事業計画にない海上輸送パターン)	1	1	
	ト	輸送方法の変更	0	1	
証拠書類の不備	チ	荷役費用の領収書なし	1	0	領収書の収集を要請し、収集を確認済み
	リ	島外業者が証拠書類を作成・提出	3	0	島外業者の証拠書類の妥当性を確認
	ヌ	間違えた証拠書類の収集 (Eパターンなのに引取証明書を収集)	0	1	正規証拠書類 ^{*5} を収集、収集確認済み *5: 引渡報告の画面のコピーに引渡し事業者にサインをしたもの
合計			27	15	